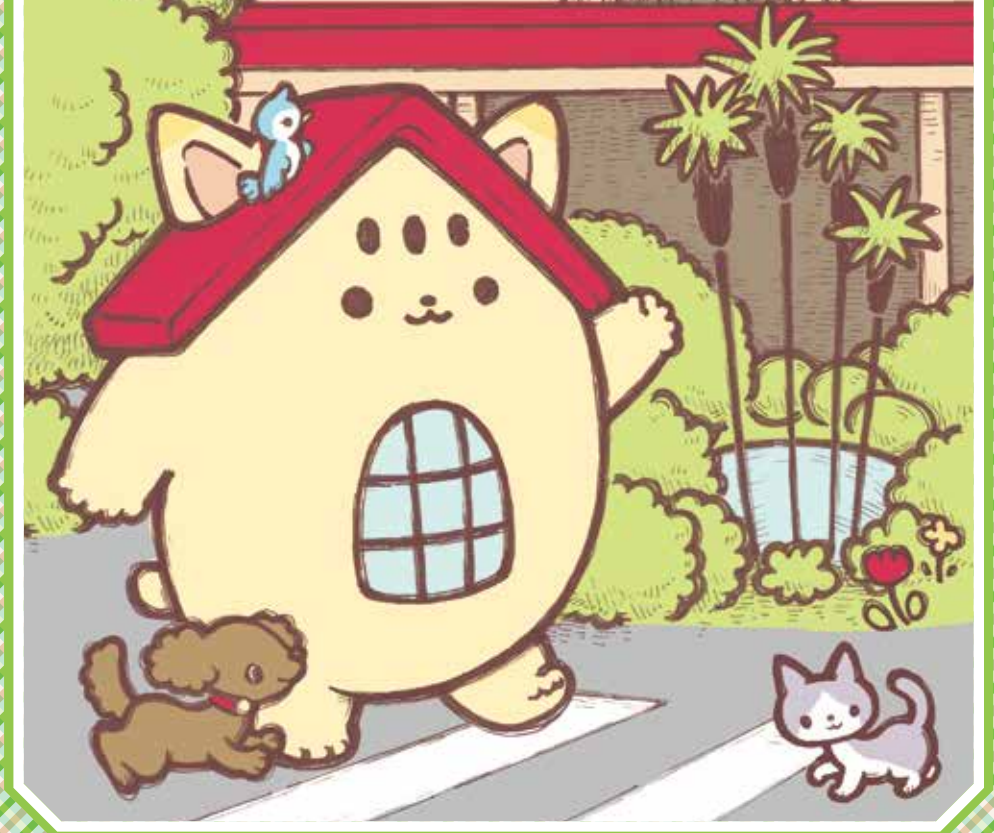


TAKE FREE

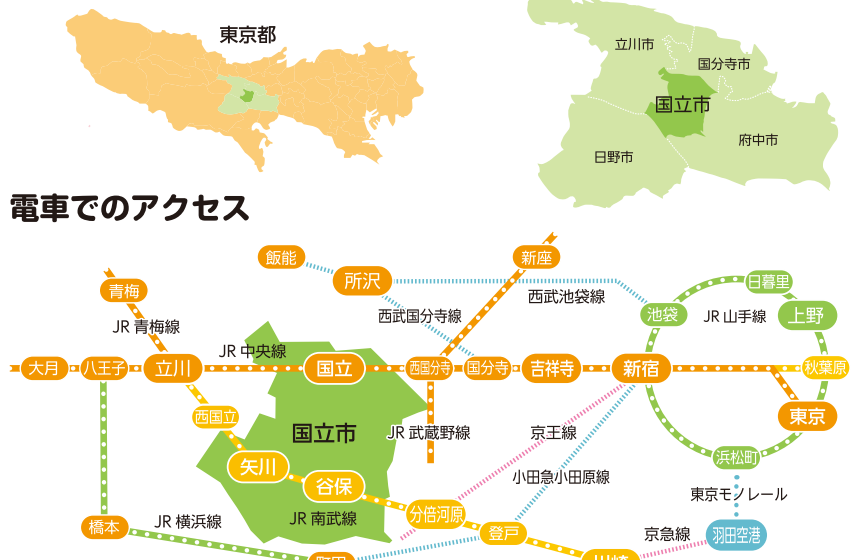
国立市 観光ガイド



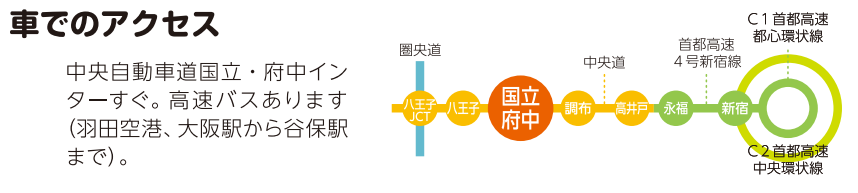
発行：国立市

国立市アクセスマップ

国立市は東京都のほぼ真ん中に位置します。東は府中、北は国分寺、西は立川、多摩川をはさんで南は日野市と接しています。



国立にはJRの駅が3つあり、アクセスが便利な市です。JR中央線で新宿駅から国立駅まで約33分。川崎方面からはJR南武線で谷保駅または矢川駅まで約50分。



国立市概要
面積：8.15平方キロメートル
人口：76,534人(2020年6月1日現在)
世帯数：38,564世帯(2020年6月1日現在)
市の鳥：シジュウカラ
市の花：梅
市の木：イチヨウ
市の色：みどり

発行日：2020年6月 改訂・非売品
発行元：国立市
電話：042-576-2111(代表)
制作協力：国立市観光まちづくり協会

国立市HP
旧国立駅舎
観光情報
シェアサイクル

くにたちのあゆみ

History of Kunitachi

- 01 顔面把手付土器** 縄文時代 紀元前 4000 年前 顔面把手付土器
- 02 四軒在家遺跡** 古墳時代 下谷保第一号墳 四軒在家遺跡

1923(大正 12)年 関東大震災おこる

1924(大正 13)年 箱根土地(株)による 100 万坪開発はじまる

1926(大正 15)年 **国立駅開業**

02 四軒在家遺跡 [B-4]
7世紀の古墳時代、この地に暮らした豪族の墓。多摩川の河原石を積み上げた横穴式石室で、南部の四軒在家公園に移築され、保存されています。

03 赤い三角屋根の旧国立駅舎
大正 15 年、町を開発した箱根土地(株)が当時の鉄道省に駅舎を寄付し、国立駅が開業。JR高架化にもなつて解体されましたが、令和 2 年 4 月に再築・開業へ。(くにたち郷土文化館提供)

04 一橋大学兼松講堂 [D-2]
異色の建築家・伊東忠太により建てられたロマネスク様式の講堂は、随所にみられる魔物の装飾も魅力的です。コンサートや公開講座で市民にも親しまれています。

このまちのルーツをたどる
豊かな水源に恵まれて、縄文時代以前から人々が集まり、農業を営んできた谷保村。昭和 2 年、都心から大学が移転してきたことで「国立」となり、独自の発展をとげてきました。先人たちが歩んだ歴史を振り返るとこのまちの魅力的な個性がみえてきます。

05 大学通りの桜 [D-2]/[D-3]
昭和 8 年の皇太子生誕を記念して、国立町会が桜の植樹を決定。谷保村青年団国立支部の若者たちが苗木の世話に協力し、見事な桜並木が誕生しました。

1927(昭和 2)年 東京商科大学(現一橋大学)専科移転 兼松講堂落成

1928(昭和 3)年 滝乃川学園が豊島区より移転(日本初の知的障がい者の施設)

1930(昭和 5)年 東京商科大学 本科移転

1934(昭和 9)年 国立町会、谷保村青年団が大学通りに桜を植樹

1945(昭和 20)年 第二次世界大戦終結

1951(昭和 26)年 谷保村が国立町になる。町制施行

1952(昭和 27)年 国立町が文教地区指定に

1967(昭和 42)年 国立町、国立市となる 市制施行

2000(平成 12)年 国立市平和都市宣言

2006(平成 18)年 府中用水が全国疎水百選に選ばれる

2020(令和 2)年 旧国立駅舎がまちの魅力発信拠点として再築・開業

イベントカレンダー 日本の伝統的なお祭りや季節ごとのにぎやかな市には、毎年多くの人が訪れます。ぜひおいでください。

Spring 春 3~5月

梅まつり 2月最終土曜・日曜 [D-4]
谷保天満宮といえは道真ゆかりの梅林。紅白の梅を愛でながら、野点(のたて)やお琴、二胡の演奏会、稚児舞[紅むらべ奉奏]が披露される風流な行事です。

さくらフェスティバル 4月上旬土曜・日曜 [D-3]
谷保第三公園で、さくら通りの桜を楽しみつつ開かれるイベント。地元野菜の即売会や模擬店、はしご車体験、フリーマーケットなど家族連れでにぎわう2日間。

さくらウォーキング 桜咲日曜
大学通りや根川緑道など、国立から立川にかけての桜の名所を歩いてめぐります。コースは約9キロ、3時間程度。途中さくらフェスティバルの会場を通ります。

LINKくにたち 5月中 [D-2]
大学通りを歩行者天国にして行われるスポーツイベント。3時間耐久リレーマラソンのほか、市内のスポーツ系団体がイベントを行います。

Summer 夏 6~8月

あじさい祭り 6月下旬の土曜・日曜 [D-4]
朱色のほおずきは、昔は葉草として珍重されていたそうです。谷保第一公園(通称汽車ポッポ公園)にて、ミニSLや音楽ライブ、模擬店などのおまつりが開催。

ほおずき市 6月下旬 [D-4]
市内の生産者「朝顔の里」で育てた朝顔が、大輪の見事な花を咲かせて早朝の大学通りにズラリ。浴衣姿のお客さんも多く、江戸風鈴の音色も涼しげに響きます。

くにたち朝顔市 7月第一週土曜・日曜 [D-2]
市内の生産者「朝顔の里」で育てた朝顔が、大輪の見事な花を咲かせて早朝の大学通りにズラリ。浴衣姿のお客さんも多く、江戸風鈴の音色も涼しげに響きます。

盆踊り 7月半ばから8月末
夏の風物詩といえは、やぐらの周りに輪になって踊る盆踊り。太鼓の音もにぎやかに、市内の公園や校庭で大小 20 もの盆踊りが、夏の間に開催されます。

Autumn 秋 9~11月

例大祭 毎年9月25日 [D-4]
谷保天満宮では、古式獅子舞(国立市無形文化財)、万灯行列、江戸里神楽奉納など伝統的な神事が行われ、市内各所には神所が設置、神輿や山車も出てにぎわいます。

市民まつり・天下市・一橋祭 11月中 [D-2]
商店が出演する天下市の最終日は市民まつりも重なり、大学通りは歩行者天国になってパレードやパフォーマンスが楽しめます。一橋大学では学園祭が開催されます。

おかから火 11月3日 [D-4]
谷保天満宮拝殿の前に高さ3mの二つの薪の山を積みあげ、18時に一斉に点火。煙にあたると無病息災に。その年についた煙を帳消しにする「うそ替え神事」にも注目。

農業まつり 11月半ば土曜・日曜 [C-4]
地元農家の新鮮野菜・谷保米の即売会に、農産物品評会。くにたち野菜にちなんだ楽しい企画もあります。農家の皆さんがつくる野菜の宝船をぜひご覧下さい。

Winter 冬 12~2月

旧車祭 12月第一週の日曜 [D-4]
数十年前、日本で初めて交通安全祈願が行われた谷保天満宮。それにちなんで、境内や谷保周辺に全国からクラシックカーやスポーツカーが集合、市内を走行します。

イルミネーション 12月 [D-2]
大学通りの10本のイチョウに輝く9万個のLED。U字通りの8mものモミの木など、市内の商店会では工夫を凝らしたイルミネーションが、冬の夜に美しく輝きます。

除夜の鐘・初詣 12月31日・1月上旬 [B-4]/[D-4]
南養寺では、大晦日の夜、誰でも除夜の鐘を叩くことができます。また学問の神様をまつる谷保天満宮には、多くの受験生が合格祈願の絵馬を奉納しに初詣に訪れます。

どんど焼き 1月半ば
谷保第三公園をはじめ、市内各所で正月飾りやお守りなどを集めて、お焚きあげを行います。細い竹の先につけた藪玉とよばれるお団子がふるまわれ、炭で焼いて食べます。

例大祭 毎年9月25日 [D-4]
谷保天満宮では、古式獅子舞(国立市無形文化財)、万灯行列、江戸里神楽奉納など伝統的な神事が行われ、市内各所には神所が設置、神輿や山車も出てにぎわいます。

市民まつり・天下市・一橋祭 11月中 [D-2]
商店が出演する天下市の最終日は市民まつりも重なり、大学通りは歩行者天国になってパレードやパフォーマンスが楽しめます。一橋大学では学園祭が開催されます。

おかから火 11月3日 [D-4]
谷保天満宮拝殿の前に高さ3mの二つの薪の山を積みあげ、18時に一斉に点火。煙にあたると無病息災に。その年についた煙を帳消しにする「うそ替え神事」にも注目。

農業まつり 11月半ば土曜・日曜 [C-4]
地元農家の新鮮野菜・谷保米の即売会に、農産物品評会。くにたち野菜にちなんだ楽しい企画もあります。農家の皆さんがつくる野菜の宝船をぜひご覧下さい。

旧車祭 12月第一週の日曜 [D-4]
数十年前、日本で初めて交通安全祈願が行われた谷保天満宮。それにちなんで、境内や谷保周辺に全国からクラシックカーやスポーツカーが集合、市内を走行します。

イルミネーション 12月 [D-2]
大学通りの10本のイチョウに輝く9万個のLED。U字通りの8mものモミの木など、市内の商店会では工夫を凝らしたイルミネーションが、冬の夜に美しく輝きます。

除夜の鐘・初詣 12月31日・1月上旬 [B-4]/[D-4]
南養寺では、大晦日の夜、誰でも除夜の鐘を叩くことができます。また学問の神様をまつる谷保天満宮には、多くの受験生が合格祈願の絵馬を奉納しに初詣に訪れます。

どんど焼き 1月半ば
谷保第三公園をはじめ、市内各所で正月飾りやお守りなどを集めて、お焚きあげを行います。細い竹の先につけた藪玉とよばれるお団子がふるまわれ、炭で焼いて食べます。

例大祭 毎年9月25日 [D-4]
谷保天満宮では、古式獅子舞(国立市無形文化財)、万灯行列、江戸里神楽奉納など伝統的な神事が行われ、市内各所には神所が設置、神輿や山車も出てにぎわいます。

市民まつり・天下市・一橋祭 11月中 [D-2]
商店が出演する天下市の最終日は市民まつりも重なり、大学通りは歩行者天国になってパレードやパフォーマンスが楽しめます。一橋大学では学園祭が開催されます。

おかから火 11月3日 [D-4]
谷保天満宮拝殿の前に高さ3mの二つの薪の山を積みあげ、18時に一斉に点火。煙にあたると無病息災に。その年についた煙を帳消しにする「うそ替え神事」にも注目。

農業まつり 11月半ば土曜・日曜 [C-4]
地元農家の新鮮野菜・谷保米の即売会に、農産物品評会。くにたち野菜にちなんだ楽しい企画もあります。農家の皆さんがつくる野菜の宝船をぜひご覧下さい。

旧車祭 12月第一週の日曜 [D-4]
数十年前、日本で初めて交通安全祈願が行われた谷保天満宮。それにちなんで、境内や谷保周辺に全国からクラシックカーやスポーツカーが集合、市内を走行します。

イルミネーション 12月 [D-2]
大学通りの10本のイチョウに輝く9万個のLED。U字通りの8mものモミの木など、市内の商店会では工夫を凝らしたイルミネーションが、冬の夜に美しく輝きます。

除夜の鐘・初詣 12月31日・1月上旬 [B-4]/[D-4]
南養寺では、大晦日の夜、誰でも除夜の鐘を叩くことができます。また学問の神様をまつる谷保天満宮には、多くの受験生が合格祈願の絵馬を奉納しに初詣に訪れます。

どんど焼き 1月半ば
谷保第三公園をはじめ、市内各所で正月飾りやお守りなどを集めて、お焚きあげを行います。細い竹の先につけた藪玉とよばれるお団子がふるまわれ、炭で焼いて食べます。



06 文教地区指定 [D-1]
戦後、立川駐留の米軍の影響による環境悪化をめぐって浄化運動がおこり、昭和 27 年、駅南側の 85 万坪が、学園都市にふさわしい文教地区に指定されました。



07 アンネのバラ
「アンネの日記」で知られるアンネ・フランクをしのんでつくられた新種のバラ。父オットー氏から日本にも贈られ、平和都市宣言の記念に植樹されました。



08 府中用水 [B-4]/[C-4] ほか
江戸時代、多摩川の流れを引き入れた全長6キロの農業用水。写真は、青柳にある取水門の昭和初期の様子ですが、今でも現役で活躍中。(くにたち郷土文化館提供)

文化と自然、どちらも大好き！ 学園都市と農ある暮らしが楽しめるまち

JR中央線の国立駅を降りると、目の前には、木々に囲まれた広くて美しい大学通りが、南に向かって真っすぐに伸びています。商店街を抜けると、両側には若者たちが行きかう一橋大学があり、構内にはアカマツの大木など、かつての武蔵野の森の名残を見ることができます。国立市は、小さな村が大学の移転をきっかけに発展してきた、平和で暮らしやすい学園都市です。

一方、歴史ある谷保天満宮の南では、今でも多くの農家が、米や新鮮な野菜、果物を生産しています。田畑を支えているのは、豊かな湧き水や農業用水。そのまわりには野鳥や昆虫、魚など多様な生き物が棲み、大人も子どもも自然の恵みを体験できる、貴重な環境になっています。くにたちは都市の文化と農ある暮らしの両方が楽しめる、稀有なまちなのです。



季節を感じる大学通り
春には桜、夏の新緑、秋にはイチョウの木々が両側を彩る大学通り(幅 44m)。新東京百景にも選ばれた人気の散歩道です。



谷保天満宮
学問の神様、菅原道真をまつる谷保天満宮の遷座は1181年。この地の農業を守る氏神様でもあり、毎年秋には例大祭が開催されます。



学園都市とアート
一橋大学、東京女子体育大学、桐朋学園など、多くの教育機関に加え、20以上のギャラリーや彫刻作品が点在するアートのまちです。



多摩川から眺める富士山
南部を流れる多摩川沿いにはサイクリングロードが整備され、朝に夕に、丹沢山系の向こうに雄大な富士山を見ることができます。



気軽においしいグルメ
おいしい飲食店や、個性的なカフェ。こだわりの国立スイーツをお土産に。

新鮮・おいしくにたち野菜
ほうれん草や小松菜、大根、なすにトマト、梨など、新鮮野菜や果物は市内各所の直売所で買うことができます。

